

CO₂ 排出削減目標が SBT 認定を取得（日本の建設業界初）

—パリ協定の 2°C 目標に合致する目標として評価—

当社の CO₂ 排出削減目標が、科学的根拠に基づく目標であることが認められました。

戸田建設(株) (社長：今井雅則) は、国際的イニシアチブである SBTi (Science Based Targets initiative) (以下、SBT イニシアチブ) に、自社の CO₂ 排出削減目標値とその根拠を提出し、審査を受けていましたが、2017年8月4日に認定を受け、SBT イニシアチブの WEB サイトに掲載されました。日本の建設業界では初めての事です。

これは、当社の CO₂ 排出削減目標設定が科学的に根拠があり、産業革命前からの気温上昇を 2°C 未満に抑えるというパリ協定の目標値達成に貢献することが認められた証です。

1. SBT 認定について

SBT イニシアチブは、CDP (旧カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)、国連グローバル・コンパクト、WRI (世界資源研究所)、WWF (世界自然保護基金) の 4 団体が 2015 年に共同で設立したものであり、産業革命前からの気温上昇を 2°C 未満に抑えるために、科学的根拠に基づいた温室効果ガス排出削減目標 (SBT) の設定を企業に働きかけています。なお、SBT の設定有無は CDP による評価項目^{※1} としても採用されています。

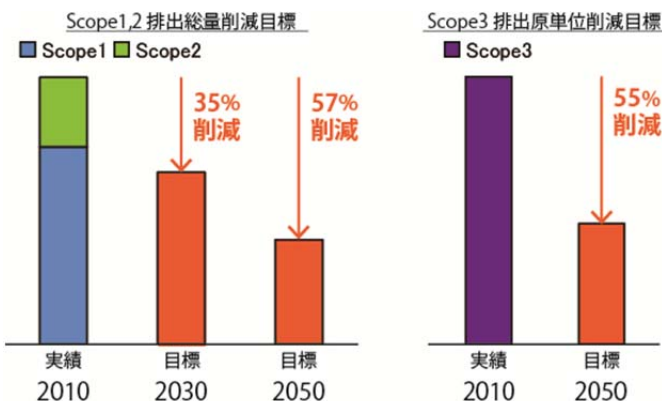
現在、世界で 293 社 (2017 年 8 月 4 日時点) がこの取り組みに賛同し、そのうち 62 社 (日本では 9 社) の目標が承認され公開されています。

2. 戸田建設の CO₂ 排出削減目標

今回 SBT イニシアチブから承認を受けた目標は、Scope1^{※2}、Scope2^{※3} の排出総量を 2030 年、2050 年に 2010 年比でそれぞれ 35%、57%削減するものです。また、Scope3^{※4} については、原単位^{※5} で 2050 年に 2010 年比 55%削減します。

当社は、「TO-MINICA (低炭素施工システム) ^{※6}」の使用、再生可能エネルギーの積極的な採用により、建設現場において自社が直接排出する CO₂ を削減します。また、高い環境性能を持つ省エネビルの設計を推進することで、当社が設計施工を行った物件のライフサイクルにおける CO₂ 排出削減に取り組んでいます。

昨年の CDP A List 認定に引き続き、SBT 認定を受けたことは、当社の環境への取り組みが高く評価されたものと認識しています。これからも、SBT イニシアチブから承認を受けた CO₂ 排出削減目標に従って、確実に気候変動対策を実施してまいります。



※1 当社は、「CDP2016 気候変動」で最高評価 (A リスト) の認定を受けました。

※2 自社の建設現場等で使用したガソリン、軽油、灯油等に伴う直接排出

※3 自社が購入した電気、熱等の使用に伴う間接排出

※4 事業活動のサプライチェーンに伴う間接排出

※5 当社が施工し、竣工した物件における床面積当たりの CO₂ 排出量 (t-CO₂/m²)

※6 当社独自の、建設工事施工中の CO₂ 排出量を削減する仕組み

